高等学校 令和５年度 教科　芸術　科目　工芸Ⅰ

教　科：芸術　　科　目：工芸Ⅰ　　単位数：2　単位

対象年次：2,3,4　年次　（再履修除く）

教科担当者：①黒田千紘　②黒田千紘　③豊浦愛　④　⑤　⑥
⑦　⑧　⑨　⑩　⑪　⑫
⑬　⑭　⑮　⑯　⑰　⑱

使用教科書：（日本文教出版　工芸Ⅰ）

教科　芸術　の目標：芸術の幅広い活動を通して、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、芸術の諸能力を伸ばし、芸術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

【知識及び技能】対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて制作方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、工芸の働きなどについて考え、思いや願いなどから心豊かに発想し構想を練ったり、価値意識をもって工芸や工芸の伝統と文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】主体的に工芸の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり工芸を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、工芸の伝統と文化に親しみ、生活や社会を心豊かにするために工夫する態度を養う。

科目　工芸Ⅰ　の目標：工芸の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の工芸や工芸の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を育成することを目指す

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
素材の特性を理解し、自身が作りたいと思う造形をかたちづくることができる。 学んだ技法や自身の経験を制作に活かすことができる。	美しい形や使いやすい形を自分なりに考え、こだわりを持った構想を練る。 伝統工芸品や生徒同士の作品を鑑賞し、作品の良さや特徴を感じ、自身の制作に反映させる。	様々な素材や技法に触れ、それぞれの良さを知る。 工芸作品の歴史的価値や現状を理解し、工芸へ向かう自分なりの考えを持つ。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 単元 【知識及び技能】 木の削り方を学び、意図した形に成形する。 【思考力、判断力、表現力等】 自分に合った箸の長さや形状を知る。 【学びに向かう力、人間性等】 自身が使いやすいと思う箸の形を追求し、丁寧に仕上げる。	・指導事項 箸づくり(木工) ・教材　等 プリント、教科書、定規、カッター、やすり、桜材	【知識・技能】 正しく道具が使用できているか。 【思考・判断・表現】 ひとあた半の長さを計り、自分に合った箸の長さを測定できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 妥協せず最後まで丁寧に作品を仕上げることができたか。	○	○	○	10
	B 単元 【知識及び技能】 素材の扱い方を学び、表現したい図柄を描くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 螺鈿の特徴を活かしたデザインを考えられる。 【学びに向かう力、人間性等】 自身が美しいと思うデザインを表現できる。	・指導事項 螺鈿 ・教材　等 プリント、教科書、のこぎり、やすり、デザインカッター、木材、水性ウレタン漆、青貝シート	【知識・技能】 材料の取り扱い方を理解し、無駄なく効率的に道具や材料を使用できたか。 【思考・判断・表現】 螺鈿の色合いや雰囲気を活かした作品を仕上げられたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 表現したいと思ったことを表現できているか。 ワークシート・作品・観察	○	○	○	14
2学期	C単元 【知識及び技能】 金属の加工の仕方を学び、意図した形に成形できる。 【思考力、判断力、表現力等】 機能と美しさを兼ね備えたデザインを考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 実用性とデザイン性を重視し、使いたくなるものを作れるようになる。	・指導事項 真鍮ペーパーナイフ(金工) ・教材　等 プリント、教科書、糸のこぎり、やすり、研磨剤、真鍮板	【知識・技能】 材料の取り扱い方を理解し、無駄なく効率的に道具や材料を使用できたか。 【思考・判断・表現】 機能とデザイン性を兼ね備えた作品ができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 使う人のことを想定した作品を作れたか。	○	○	○	14
	D単元 【知識及び技能】 成形技術を学び、目的に応じた形を作れるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 用途や使用場面を想定した器の形を考えられる。 【学びに向かう力、人間性等】 生活に根付いた工芸技術であることをふまえて、使う人や場面を想定したものづくりができるようになる。	・指導事項 陶芸 ・教材　等 プリント、教科書、パワーポイント、粘土、手回しろくろ、たたら板、のばし棒	【知識・技能】 材料の取り扱い方を理解し、無駄なく効率的に道具や材料を使用できたか。 【思考・判断・表現】 使用する場面や用途を想定した制作ができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 実際に日常で使用することを想定した作品が作れたか。	○	○	○	12
3学期	E 単元 【知識及び技能】 仕上がりの形を想定して制作できる。 【思考力、判断力、表現力等】 丸みを帯びた形状に向いている特性を理解したデザインを考えられる。 【学びに向かう力、人間性等】 郷土玩具に使用されている技法であるはりこの良さを取り入れた制作ができる。	・指導事項 はりこ ・教材　等 プリント、教科書、パワーポイント、新聞、ガムテープ、半紙(和紙)、ジェッソ、アクリル絵の具	【知識・技能】 材料の取り扱い方を理解し、無駄なく効率的に道具や材料を使用できたか。 【思考・判断・表現】 技法の特性を活かした制作ができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 素材や技法の良さを取り入れた作品を制作できたか。	○	○	○	14
	F単元 【知識及び技能】 七宝絵の具の適切な取り扱いができる。 【思考力、判断力、表現力等】 限られた焼成回数でできるデザインを考えられる。 【学びに向かう力、人間性等】 こだわりを持って制作ができる。	・指導事項 七宝 ・教材　等 プリント、教科書、パワーポイント、銅板、七宝絵の具	【知識・技能】 材料の取り扱い方を理解し、無駄なく効率的に道具や材料を使用できたか。 【思考・判断・表現】 仕上がりまでの段取りを逆算して制作ができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 こだわりを持って制作できたか。	○	○	○	6 合計 70